

## 漁協の加工品開発と販路開拓

# 12日に那覇市でシンポ

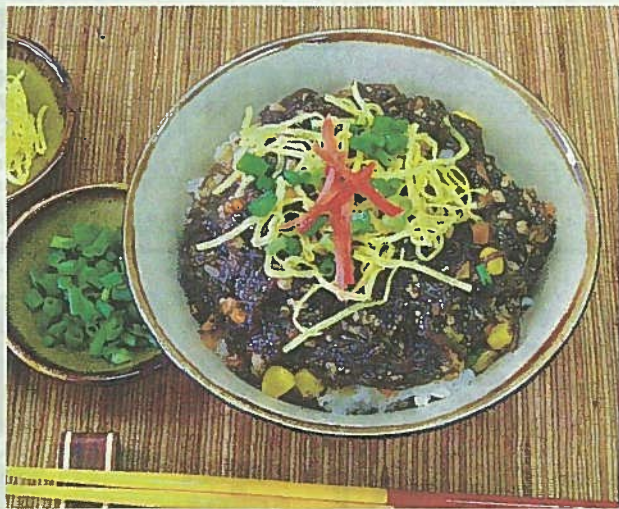
## 沖縄県漁業振興基金と参事会

【那覇】(沖縄県漁業)会館でシンポジウム「沖縄振興基金(糸満盛健理事 縄県内漁協における加工長)と沖縄県漁協参事会 品開発と販路開拓」を開(伊計光也会長・与那城町く。

漁協参事)は12日午後2時から、那覇市の県水産

近年の多様な消費者ニーズに即した新たな販売

め、意見交換が目的。



読谷村漁協がコープおきなわなどと開発した「海人自慢のもずく丼」の調理例。人気を呼び、コープ店舗、共同購入だけに留まらず他の県内量販店でも販売されている

手法を検討するため、県内でも先駆的な取り組みを行っている漁協の事例報告を通じて、漁協間の情報共有化と新たな販売手法について検討するための意見交換が目的。

パネルディスカッションでは、伊計県漁協参事会会長をコーディネーターに、金城信幸(国頭漁協参事)、「ソデイカ」の未利用部分の開発と販路開拓、「真栄田正男(本部漁協参事)が「加工品開発による漁家経営の安定を自指して」、玉城謙栄(勝連漁協参事)が「モズク消費拡大に向けての加工品作り」、前田晃(読谷村漁協指導管理職員)が「一人どのつながりによる垂直連携での商品開発」のテーマでそれぞれ報告。質疑も交えながら議論を深めていく。

勝連漁協とコープおき

みH201208面2漁協の加工品開発と販路開拓12日に那覇市でシンポ

なわなどが開発したモズクギョーザ、読谷漁協の「海人自慢のもずく丼」「ミジユンのまーす煮」はコープおきなわの人気商品となっており、今後販路拡大が期待されている。本部漁協はモズクとソデイカを利用したソーセージ、モズクキムチ、モズクアイススクリームの「海ぶちアイス」などを積極的に開発してきた。

国頭漁協はシイラの一夜干し、ソデイカ加工品などを開発。いずれの漁協も漁業生産にとどまらず加工品開発まで見据えた活発な展開を見せている。

事例発表を行う4漁協の加工品の展示即売会も実施する。

▼問合せ〓沖縄県漁業振興基金、電098・860・2640